

1629

號

四

第

閱



房官臣大	課局務主	裁	決	大臣	件番受
了結願受出提願受	號番				名號領
大正 〇年	大正 〇年	大正 五年八月廿八日	大正 五年九月七日	大正 五年九月七日	陸軍步兵少長 神原重雄死刑判決具申ノ件
長	局	帶	聯	次	官
				高級副官	應名
長	課	帶	聯		朝鮮駐劄軍
者	記	筆	案	審	

上

陸軍大臣在自軍中及多々々々々々々々々々々々

松田

陸軍大臣在自軍中及多々々々々々々々々々々々

其裁可了りたれども軍法會議一判決係

此二ハ家信下付長官等々判判官等

一命令多下付了り

左記

- 一 裁判官等々々々々々
- 二 修官及其同僚等軍令官等々々々々
- 三 尉官及其同僚等軍令官等々々々々

上奏案

步兵第七十九聯隊第七中隊陸軍步兵中隊長神原勇
雄上官暴行殺人傷害被告事件朝鮮駐劄軍陸
軍軍法會議ノ判決相當ト存候因テ陸軍治罪法
第八十八條ニ依リ判決書其他訴訟書類ヲ具シ
上奏候也

九月十二日

大臣ヲ内閣總理大臣ニ擬陳案

步兵第七十九聯隊第七中隊

陸軍步兵中隊長神原勇雄

右之者裁判御裁可ニ關スル上奏書及送達候也

陸軍省 陸軍部 第二九三六號





朝鮮軍司令部
八月廿八日

三六七

判決ノ件具申

大正五年八月二十日 朝鮮駐劄軍司令官秋山

陸軍大臣大嶋健一殿

左記者上官暴行殺人傷害被告事件
別紙判決書ノ通り判決相成候間陸
軍治罪法第八十七條ニ依リ訴訟書
類相添具申候也

左記

歩兵第七十九聯隊第七中隊

陸軍歩兵伍長 神原勇雄

陸軍

法第二九

本件判決要旨

歩兵第七十九聯隊第七中隊

陸軍歩兵伍長 神原勇雄

事實

衛兵司令トシテ 服務中 檀ノ其ノ地ヲ離レ果ノ料理店ニ到リ遊興ス

歸來週番士官歩兵中尉ニ好康ノ居室ヨリ其ノ軍刀ヲ竊取シ之ヲ携ヘテ再ヒ右ノ料理店ニ至リ之ヲ以テ同家ノ酌婦 杉尾千ヅナル者ヲ殺害シ次ニ好中尉ハ其ノ居室ニ睡眠中ナルヲ襲テ之ヲ殺害シ續テ衛兵

所ニ歸リ勢ニ乘シテ上等兵某及一等兵某ヲ傷害
シ之ヲシテ疾病休業ニ至ラシム

尚此等ノ和罪ノ後一旦逃走シ其ノ逃走中朝鮮人
某家ヨリ朝鮮服一著及笠一個ヲ竊取ス

以上ノ和罪ノ動機ハ其ノ真相詳ナラサルモ判決書
認ムル所ハ卑根書以籍ノ耽讀ニ基リ厭世悲觀
等ニ在リトスルモノ、如シ

擬律及主知分

陸軍刑法ニ於テハ對上官暴行及辱職ノ問ニ刑法
ニ於テハ殺人、竊盜及傷害ノ問ニ併合罪ノ故ヲ以テ
死刑ニ處ス

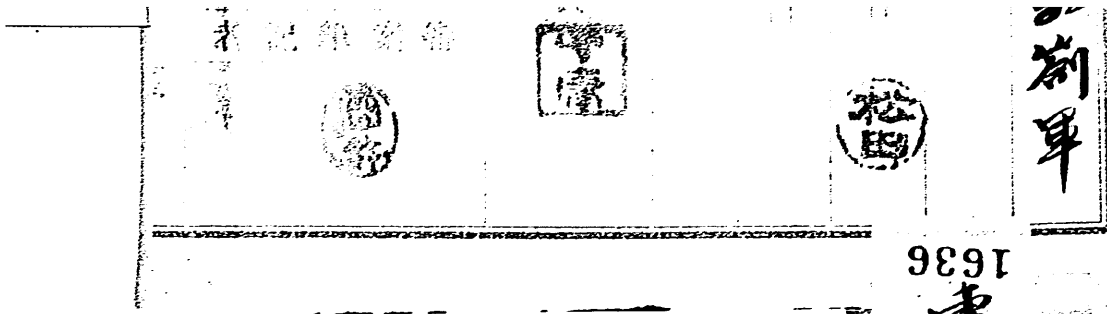


閱

大正 五年 九月 十八日 九月十八日	大正 五年 九月 十八日	大正 五年 九月 十八日	大正 五年 九月 十八日	大正 五年 九月 十八日	大正 五年 九月 十八日	大正 五年 九月 十八日	大正 五年 九月 十八日	大正 五年 九月 十八日	大正 五年 九月 十八日	大正 五年 九月 十八日
大正五年九月十八日										
大正五年九月十八日										
大正五年九月十八日										
大正五年九月十八日										
大正五年九月十八日										
大正五年九月十八日										
大正五年九月十八日										
大正五年九月十八日										
大正五年九月十八日										
大正五年九月十八日										

参第五五八号
 神原位長死刑判決具申
 朝鮮駐劄軍

1636
 連帶リ面



1636

連帶リヤ等セク

大臣ヨリ朝鮮駐劄軍司令官へ御達案

刑紙陸軍生兵佐長神原常雄上官暴行殺人傷
害被告事件判決書之通宣告執行ス

年月日 陸軍大臣

九月廿八日

副官ヨリ内閣書記官へ通譯案

陸軍生兵佐長神原常雄上官暴行殺人傷害
被告事件判決書寫刑紙及送付候也

陸軍部第三二八

九月廿八日



参第五十八號共一



九月廿八日



内閣陸軍二二号

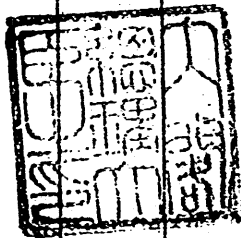
大正五年九月十二日陸普第二九三六号

陸軍歩兵伍長神原勇雄上官暴行殺人傷害被告事件判決ノ件上奏ノ

通裁可ス

大正五年九月二十八日

奉勅 内閣總理大臣侯爵大隈重信



内閣